

# 2006年3月期 IR資料

---

本資料に掲載されている当社の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって記載の予想値と異なる可能性があります。

**広栄化学工業株式会社**

## 2005年度 増収増益 5円配当を継続する。

( 単位：百万円 )

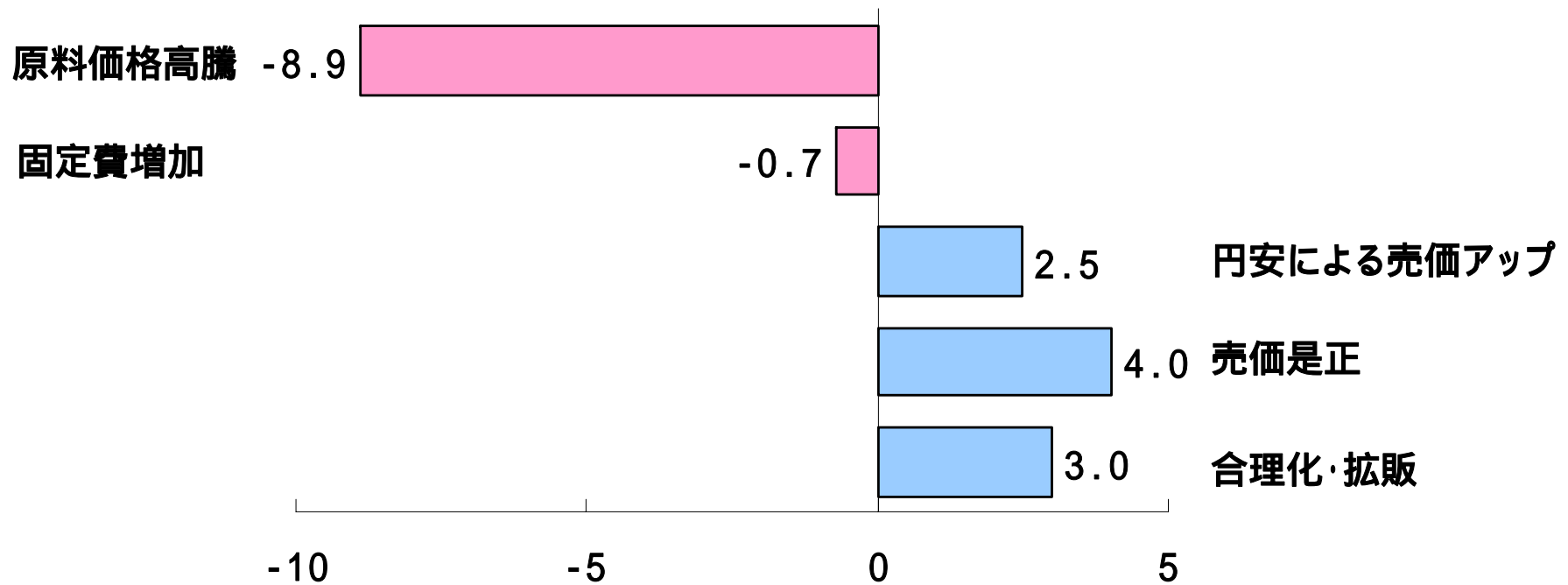
科 目	2005年度		2004年度		増 減	
		%		%		%
売 上 高	20,410	100.0	19,683	100.0	726	3.7
営 業 利 益	834	4.1	851	4.3	17	2.0
経 常 利 益	865	4.2	724	3.7	140	19.5
当 期 純 利 益	527	2.6	452	2.3	75	16.6

# 原料価格高騰を、売価是正・合理化改善でカバー

## 営業利益 百万円

2005年度	834
2004年度	851
	<hr/>
	17

(単位：億円)



## 2006年度 増収増益により、増配を計画

(単位：百万円)

	2006年度予想	2005年度実績	増	減	増減率
売上高	22,800	20,410	2,390		11.7%
営業利益	930	834	96		11.5%
経常利益	1,000	865	135		15.6%
当期利益	590	527	63		12.0%
配当	6円	5円	1円		20.0%

# 原料価格高騰を、拡販・合理化改善でカバー

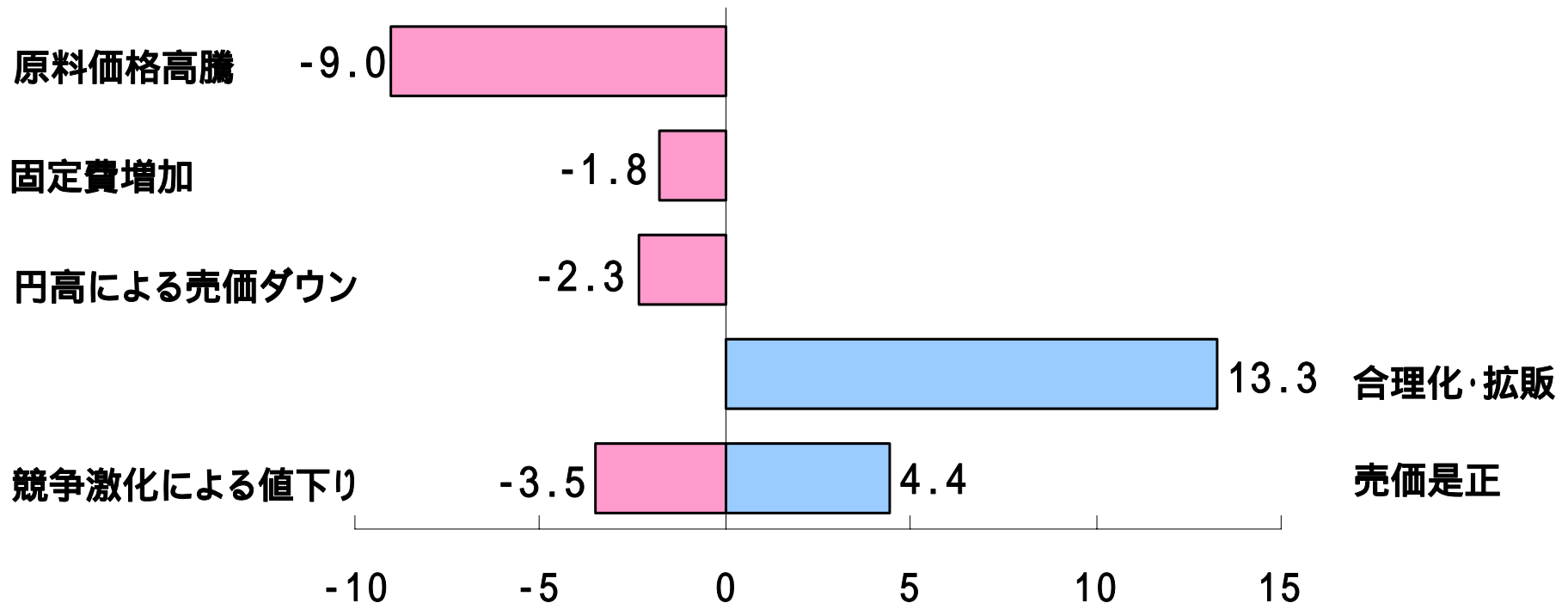
## 営業利益 百万円

2006年度 930

2005年度 834

            
+ 96

(単位：億円)



# 重点取り組み項目

## 製造合理化 省エネプロジェクト

全社エネルギー消費高 18.5億円の20%削減を目標に、  
3億7千万円の省エネを、2007年度までに実現

- ・高効率型天然ガスコージェネレーションシステム導入  
(新エネルギー事業者支援補助金事業)

発電量:全社の25%

省エネ率:約3%

- ・都市ガス焚き小型パッケージボイラーの導入
- ・既設回収ボイラーの発生量増強

スチームの自製化率:39% 46%

- ・製造プロセス合理化によるエネルギー使用量削減

# 重点的取り組みその

## 生産改革プロジェクト

発足：2006年4月

目的：「工場を強くすること」

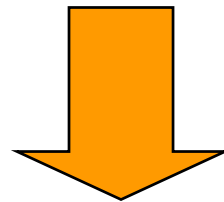


# 重点取り組み項目

## 技術伝承と技術道場

個人・各部門が保有する有用情報を整理 → 「見える化」

- ・技術伝承データベースをグループウェア上に作成  
各種の切り口で検索 添付資料からの検索も可能  
(設備・化学技術・運転法・法規・環境・安全 等)
- ・コアマネージャーを対象に「技術道場」開催  
東西の工場で月2回、研究所で月1回開催中



現場力・技術力のアップ

## 生産拠点の千葉統合

ステップ1：開発製品を対象とする液相開発プラント建設

2006年7月から操業開始

投資額 約11億円

ステップ2：潰瘍剤中間体の千葉一貫生産対応

2007年度末完成予定

投資額 約7億円

ステップ3：千葉統合完了

2007～2008年度完了予定

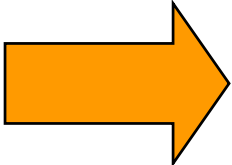
投資額 約8億円

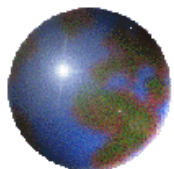
# 新開発プラント



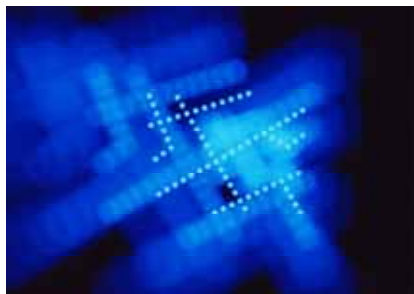
## スタッフ機能の東京・千葉集中

生産拠点の千葉統合に先駆けて、スタッフ機能を東京・千葉に集中する。

	現 状		移 転 後	
大阪	132 人		104 人	-21%
東京	34 人		49 人	44%
千葉	186 人		196 人	5%
計	352 人		349 人	-1%



# あたりまえ、があたらしい!



カップリング技術を  
駆使して作る  
**有機金属錯体触媒  
有機EL材料**

多価アルコールから作る  
**樹脂・ハードコート材**



私たちの周りは「あたりまえ」でいっぱい。

砂糖は甘くておいしいもの。  
塩はしょっぱくて硬いもの。  
ホタルは自分のおしりを光らせる。

こんなあたりまえに  
ちょっとイタズラをしてみると…

甘くない砂糖ができた!  
硬いはずの塩が水みたいに!  
ホタルに負けない光が出た!

ユニークなひらめきとイタズラで、  
あたらしいケミカルを生み出しています。

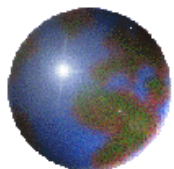
私たちは、**広栄化学。**



含窒素複素環類の  
**医薬中間体合成**

様々な含窒素化合物の  
4級塩化技術で創る  
**イオン液体**





# 広栄化学の主な機能性製品

## イオン液体



## 有機金属錯体触媒

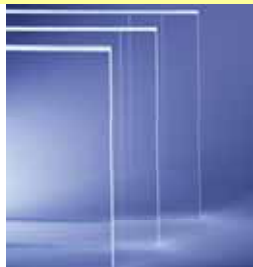


- 自社製品の高機能化
- 高純度精製
- -70 低温制御合成
- カップリング技術

## 有機電子材料 (有機EL材料等)

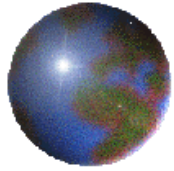


## ハードコート材料



## 色素増感型太陽電池色素 (金属錯体型色素)





# 当社イオン液体の主要用途



## ■ 高機能溶媒

- ・ 高分子合成用
- ・ グリーンケミストリーを志向した合成プロセス開発
- ・ 酵素反応溶媒



## ■ 電気二重層キャパシタ用電解質

- ・ モバイル、風力、色素増感太陽電池等の電源装置用キャパシタ

## 冷媒・熱媒

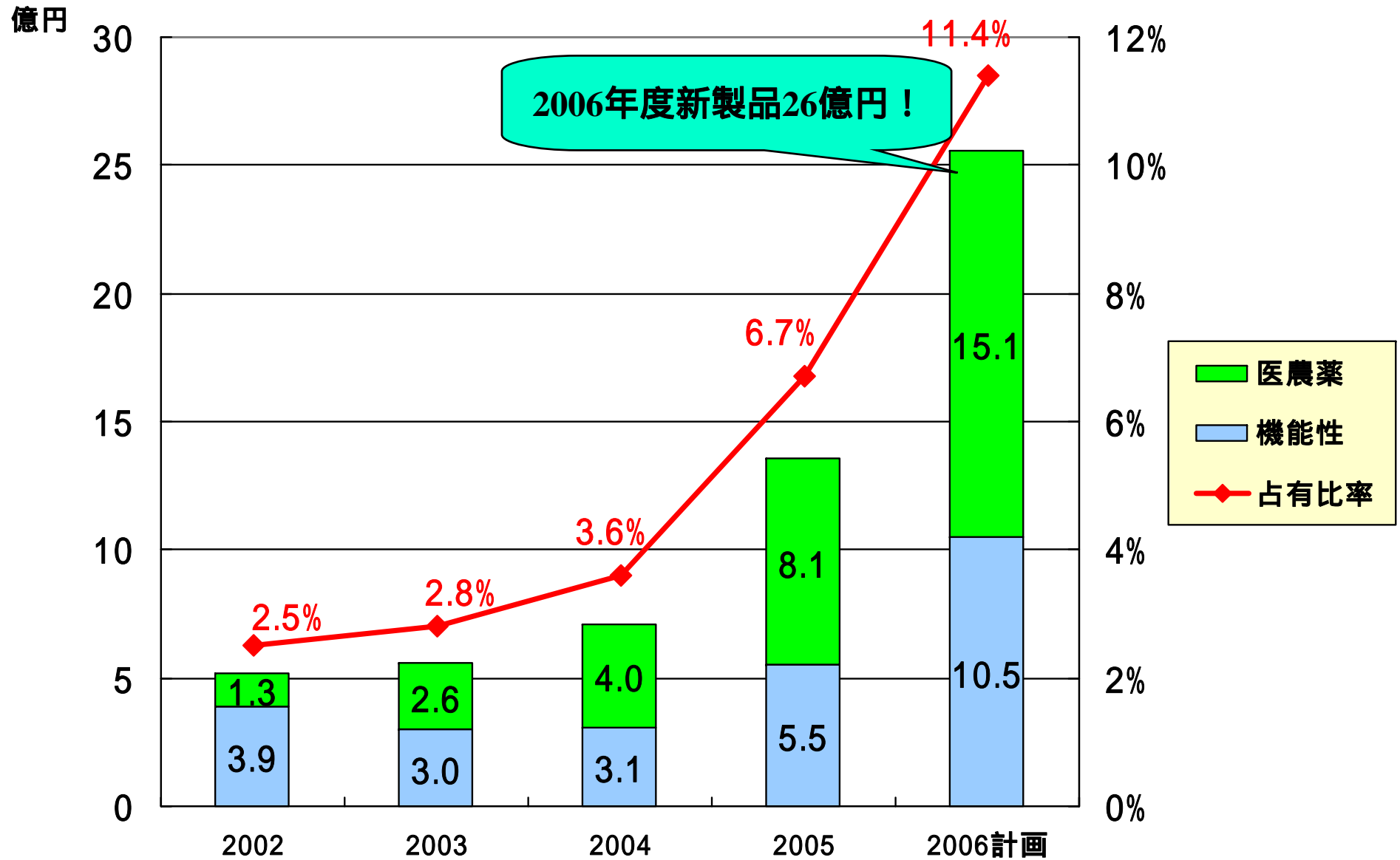
- ## ■ 安定かつ効果的な 冷却・加熱媒体

## その他添加剤 抽出剤 不揮発性封止剤

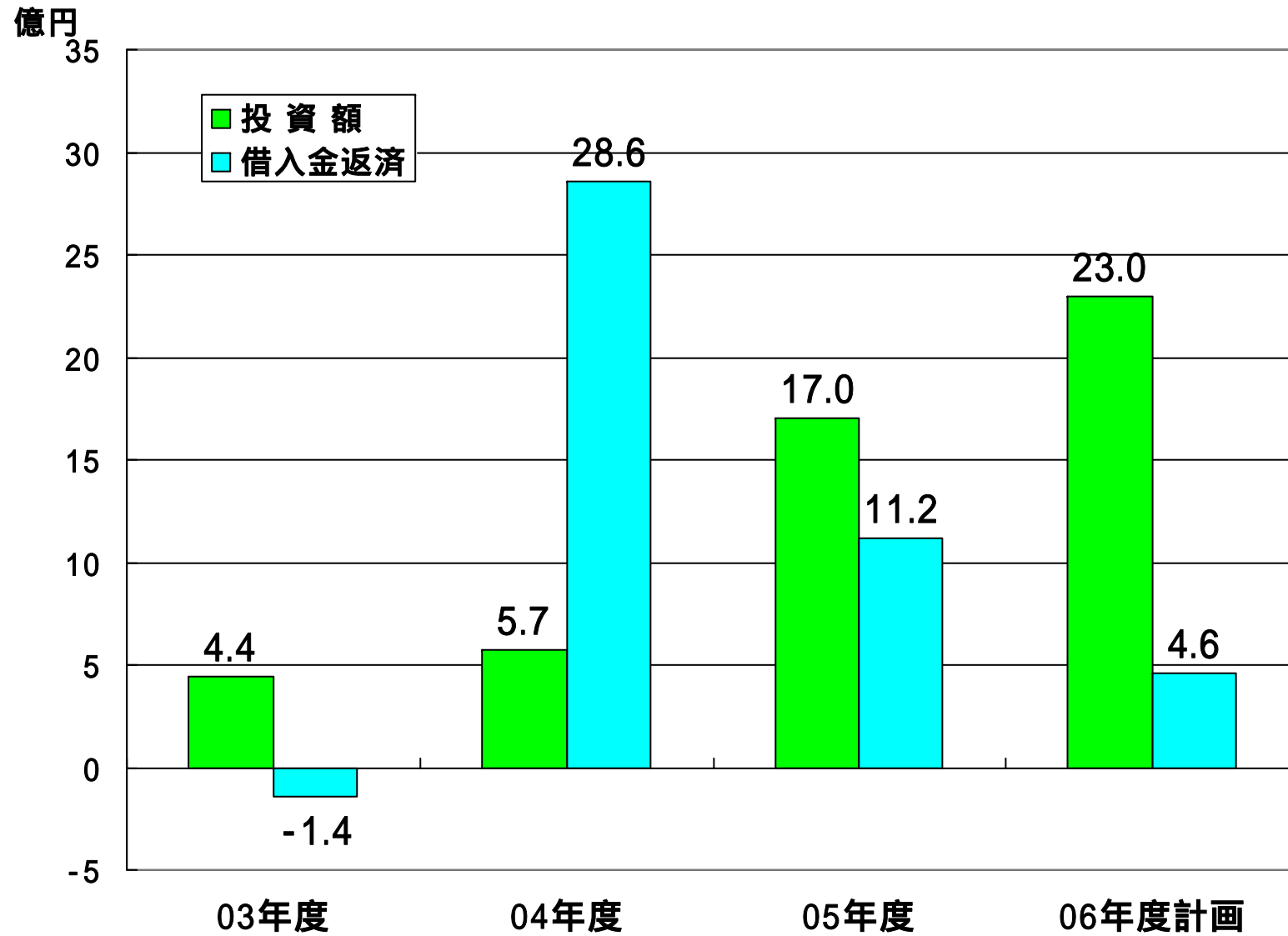
## 気相法による、農薬中間体製造設備増強



# 新製品売上高と占有比率

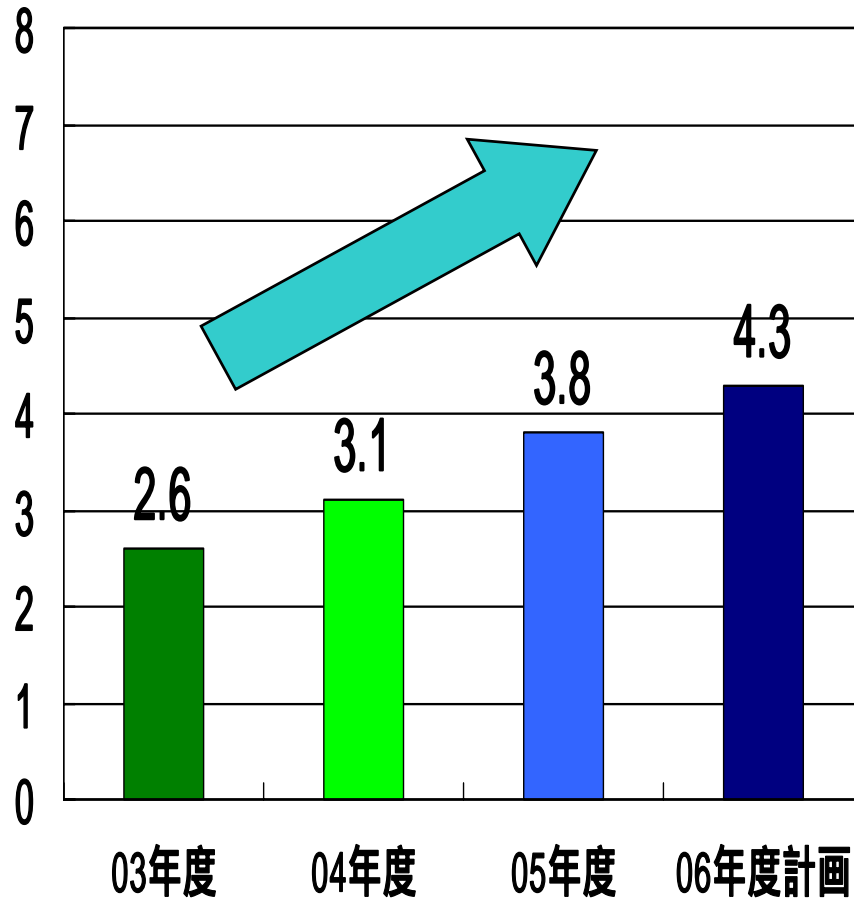


## 借入金を返済しつつ、積極的な設備投資を計画

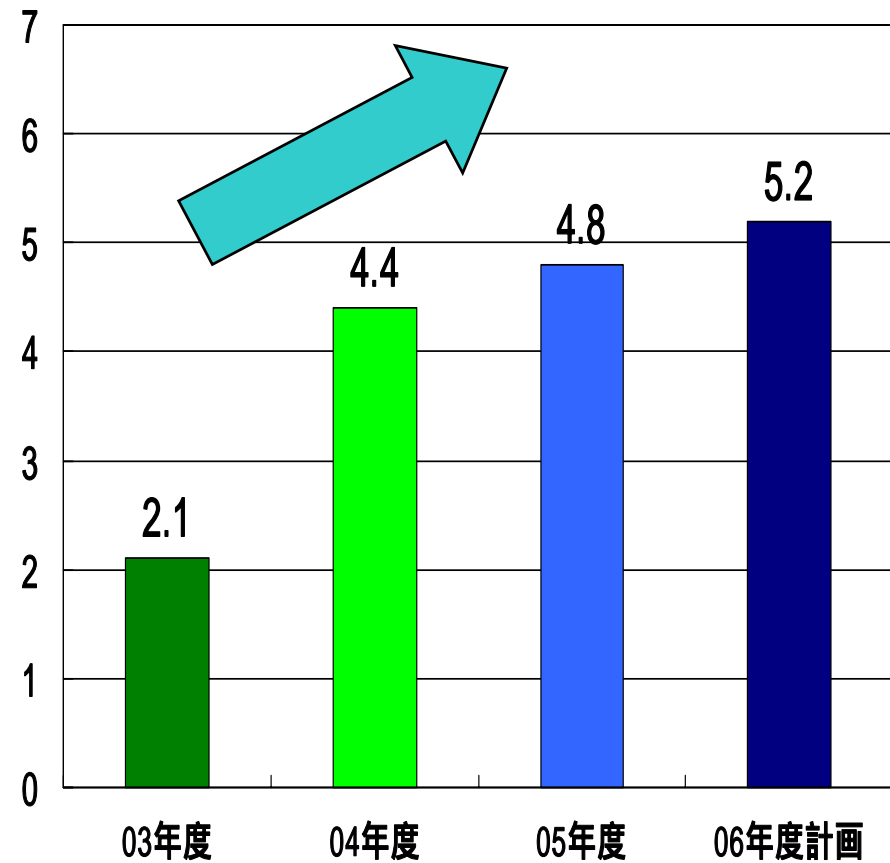


# 財務指標その1

## 総資産経常利益率 (単位: %)

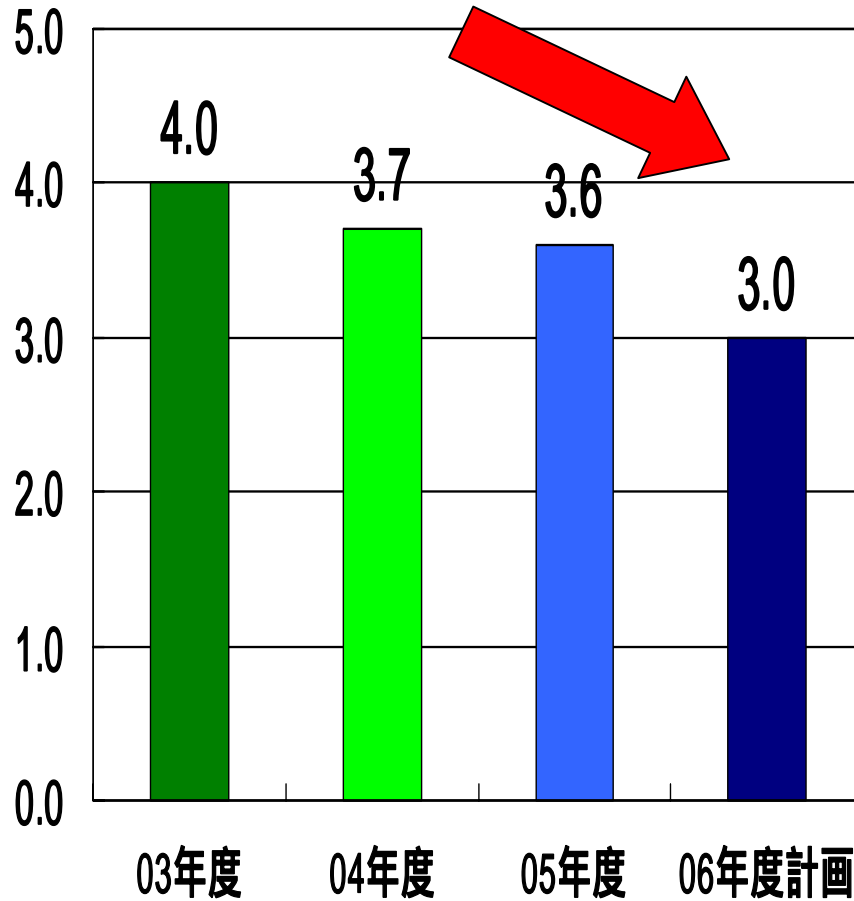


## 株主資本利益率 (単位: %)



## 財務指標その2

期末棚卸資産保有月数  
(単位:ヶ月)



借入金削減(単位:億円)

